

消費のためではなく、社会的で持続性のある価値を創造する本来の「デザイン」とは 「イタリアンデザインの本質、プロジェッタツィオーネを学ぶ旅」報告会を開催

～人間生活を豊かにする思考と実践力を持つクリエイティブ人材の育成をめざして～

クリエイター（*1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区 所長：堂野 智史）は、2017年3月12日～3月19日の8日間、ローマ在住の演出家・批評家である多木陽介氏のコーディネートのもと、公募で参加した6人のクリエイターが、ミラノ、トリノ、ヴォーゲラの3都市を訪問し、「プロジェッタツィオーネ（progettazione）」（*2）の本質を辿るツアーを実施しました。

4月24日に実際にツアーに参加したクリエイターより、「プロジェッタツィオーネ」についての学びや経験を共有する報告会「これからのクリエイターがプロジェッタツィオーネを学ぶ理由」を開催します。

*1 クリエイター：プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者など。

*2 プロジェッタツィオーネ：イタリアでデザインという語が定着するまで使われていた言葉。ただ物の色と形を考える仕事ではなく、人間の生活環境の改善を第一の目標とし、機能や生産の問題をより多角的に把握し、解決するといった自律性をもった仕事を意味する。

■消費拡大から生活の質向上へ

人口減少期を迎え、クリエイターの求められる役割も変化しており、消費拡大のための商業的デザインではなく、一人ひとりの生活の質向上や、その延長線である社会課題解決のためのデザインを求められるケースが増えています。

昔からそのようなデザイン思考を行ってきたイタリアに学び、関西にも人間生活を豊かにする思考と実践力を持つクリエイティブ人材を生み出すために、「イタリアンデザインの本質、プロジェッタツィオーネを学ぶ旅」ツアーを実施し、このたび報告会を開催します。



■6人のクリエイターがプロジェッタツィオーネを体感

今回のイタリア研修ツアーには、グラフィックデザインやWEBデザイン、空間デザインなど様々なジャンルの6人のクリエイターが参加しました。自由な創造性を鍛えるため、森で集めた素材と人工の素材をもとに丸2日間かけて作品を作る体系化されたワークショップを体験したり、親の離婚や家族の死などがテーマの絵本を発行する出版社や、市民生活向上のための「地区の家」などを視察。「プロジェッタツィオーネ」を実践している先人から、考え方や行動様式について話を聞いたり、創造性を体得するためのトレーニングを受けたりして、その本質を学びました。



報告会にはツアーに参加した全クリエイターが参加。現地で出された課題に対して真摯に向き合い、自身の仕事に重ね合わせて考え続けたクリエイターたちから、「研修ツアーで得られたこと」「今のクリエイターにとって必要なこと」を報告します。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780（平日 10:00～21:30）

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ：<http://www.mebic.com/>

参考資料

■「イタリアンデザインの本质、プロジェッタツィオーネを学ぶ旅」ツアースケジュール

3月12日(日) 大阪 → ミラノへ移動

3月13日(月) ミラノ滞在

カスティリオーニスタジオの見学

基礎セミナー「カスティリオーニのプロジェッタツィオーネに学ぶ未来の創造力への指針」 講師:多木陽介氏

カルトゥージア社訪問 講師:パトリツィア・ゼルビ氏(カルトゥージア社 社長)

3月14日(火) ミラノ → トリノへ移動

カヴァリアスタジオ訪問

ジャンフランコ・カヴァリア氏(建築家、トリノ工科大学名誉教授)とのディスカッション(前半)

スペルガの大聖堂に移動してディスカッション(後半)

3月15日(水)

バリエーラ・ディ・ミラノ地区、サン・サルヴァリオ地区の「地区の家」の見学

アンドレア・ボッコ氏とのディスカッション

トリノ → ミラノへ移動

3月16日(木) ミラノ → ヴォゲーラへ移動

ワークショップ「ブルーノ・ムナーリの方法」(1日目)

講師:シルヴァーナ・スペラーティ氏(ブルーノ・ムナーリ協会会長)

3月17日(金)

ワークショップ「ブルーノ・ムナーリの方法」(2日目)

講師:シルヴァーナ・スペラーティ氏(ブルーノ・ムナーリ協会会長)

ヴォゲーラ → ミラノへ移動

ミラノの子供博物館 ブルーノ・ムナーリ「Vietato non toccare(触らないの禁止)」 展見学

3月18日(土) 現地自由解散、ミラノ → 大阪へ移動

3月19日(日) 大阪着

■イタリア研修ツアー報告会「これからのクリエイターがプロジェッタツィオーネを学ぶ理由」

※詳細は添付資料をご参照ください

●日時 2017年4月24日(月) 19:00~21:15

19:00~19:15 ツアー全体概要説明 メビック扇町

19:15~19:45 訪問先についての説明 多木 陽介氏(現地コーディネーター)

19:50~21:00 ツアー参加者と現地コーディネーターによるトークセッション

多木 陽介氏(現地コーディネーター)

小田 展正氏(コミュニティデザイン)

高田 久紀氏(グラフィックデザイン)

玉泉 京子氏(WEB制作)

西尾 理恵氏(和紙作家)

早川 亜希氏(空間デザイン)

原 知恵子氏(グラフィックデザイン)

21:00~21:15 質疑応答

●会場 メビック扇町 交流スペース3(大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F)

●定員 50人程度

●費用 無料

●主催 大阪市/クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

●問合せ・申込 メビック扇町 TEL:06-6316-8780 (平日 10:00 ~ 21:30) <http://www.mebic.com/>